

新技術・製品情報

バルコニー床における必要性能と新技術

■現状

開放廊下や階段の床仕上げにウレタン塗膜防水材と防滑性ビニル床材との組合せによる複合工法が採用されるようになってから10年以上が経過している。そして、近年ではバルコニーにおいても同様の仕様が採用されることが多くなっている。そうした中、廊下や階段とバルコニーでは、居住者の使用方法や管理方法が異なることから、床材としての必要機能について相違点が指摘されるようになってきた。

このような背景から、それぞれの部位に合わせた機能を優先させ、新たな性能を付加した床材の開発が必要となった。

■バルコニー専用の防滑性ビニル床材の開発

バルコニーにおける床材の必要性能は、廊下や階段の必要性能である耐候性や安全性などに加え下記①～⑤が重要となる。

- ①メンテナンス性：居住者でも簡単に清掃が可能。
- ②防滑性：簡易的な履物（サンダル、スリッパ等）に対する防滑性。
- ③防汚性：様々な汚れ物質への耐久性の向上。（ガーデニング薬剤やゴミ汁等への対応）
- ④軽量化：工事時は室内通過または外部足場利用になるため材質の軽量化。
- ⑤意匠性：専用使用部位としての個人的色彩等の見栄え要望に応えられる意匠性の向上。

これら①～⑤の要求性能に対応するために、バルコニー用の床材は以下の特長が必要と考える。

- ①メンテナンス性の向上：凹凸の高低差を従来品より低減することにより、堆積汚れを除去し易くする。（図1）
- ②防滑性の維持・向上：凹凸を低減することで、防滑性能が低下

しないように、凸部に微細な凹凸をつけ、より防滑性の高い樹脂を使用するなどの改良が必要である。（図2、3）

③防汚性の向上：従来品と比較して、防汚性能

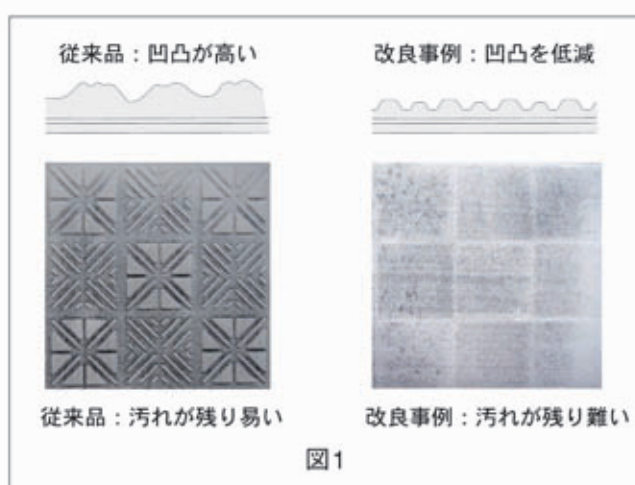


図1

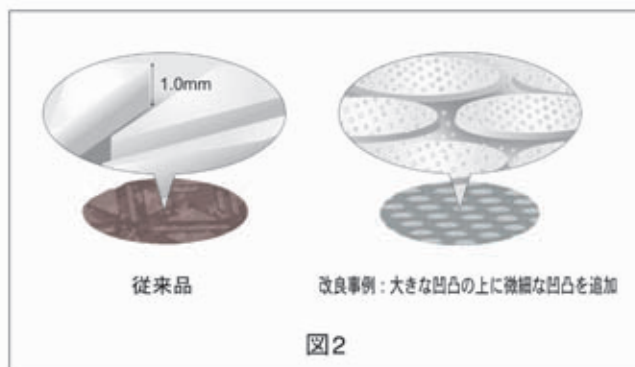


図2

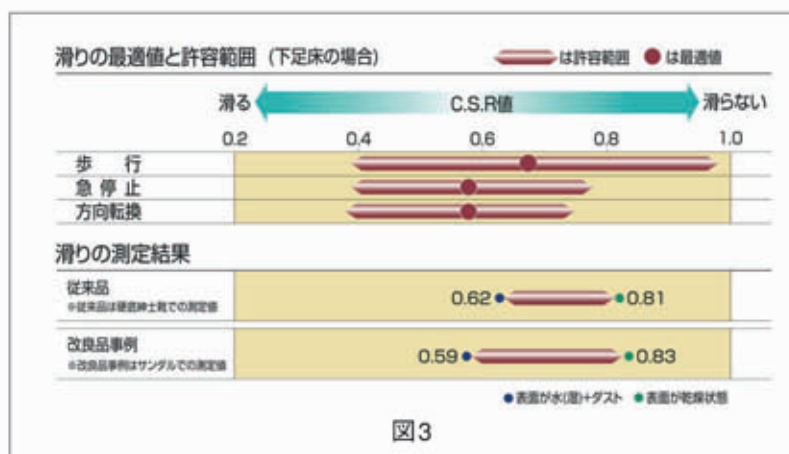


図3

汚れの分類

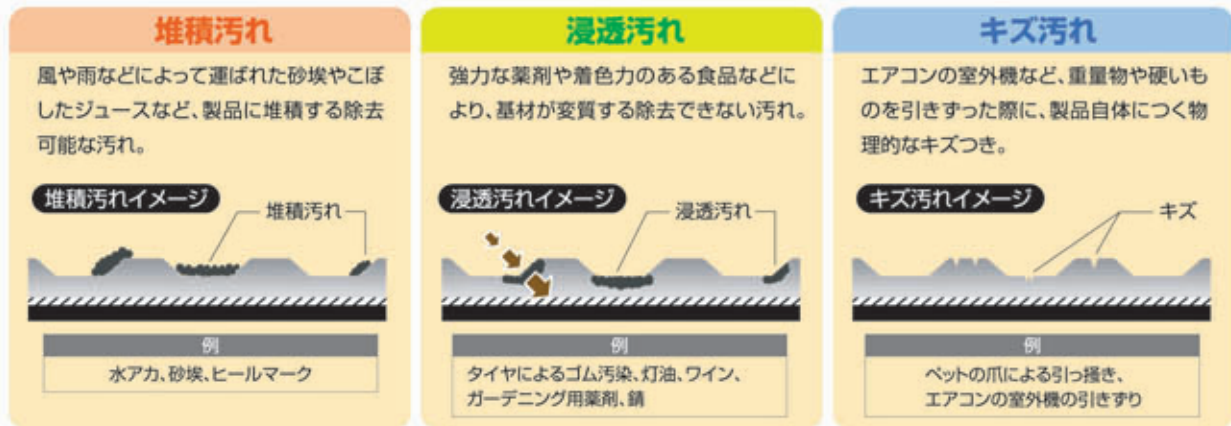


図4

を向上させるために、床材表面に緻密な層を作ることで、床材内部への汚れの浸透を防止するなどの改良が必要である。(図4)

- ④材料搬入時の安全及び狭小部での作業性向上：足場からの材料搬入となるため、材料の軽量化が必要である。また、バルコニー（狭小部）での作業となるため、材料の施工性向上も必要である。(図5、6)
- ⑤意匠性の向上：居室からの意匠性や採光による意匠性を意識した柄や、高級感のあるタイル調をイメージした柄も開発されている。(写真1)

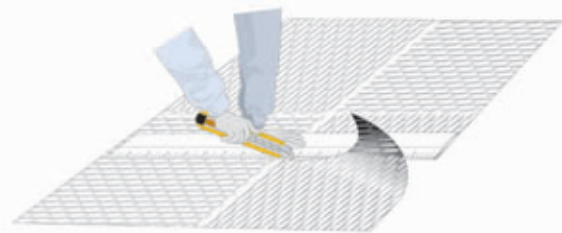


図5

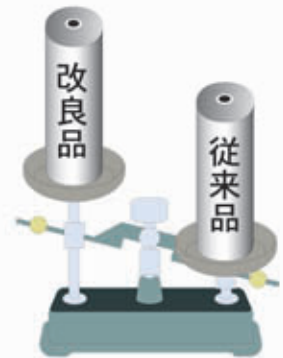


図6



写真1

■今後の課題

今後は、集合住宅におけるそれぞれの部位の特長を考えるととも改修工事中の居住者様への配慮から、躯体保護、止水能力の向上、意匠性の向

上はもちろん、更なる工期短縮、騒音・粉塵等の低減製品と施工方法の開発が必要であるといえる。

タキロンマテックス株式会社 東京支店 鶴淵良明